

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業統括推進本部長

(氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	285	16.3	△114	—	△83	—	△81	—
26年3月期第2四半期	245	—	△123	—	△125	—	△139	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △81百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △131百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△12.49	—
26年3月期第2四半期	△22.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,234	2,713	83.2
26年3月期	3,147	2,794	87.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,691百万円 26年3月期 2,767百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900	34.2	10	—	10	—	3	—	0.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,547,590 株	26年3月期	6,547,590 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	190 株	26年3月期	190 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	6,547,400 株	26年3月期2Q	6,211,288 株

(注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成26年11月20日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における、当社グループのセグメント別の業績は、下記のとおりとなりました。

#### ・診断・試薬事業

研究用関連においては、主力の受託サービス及び国内外のEIA測定キットや抗体の自社製品の販売が増加傾向にありますが、前年度末の駆け込み需要の影響等により減少した売上高を補うことが出来ず、売上高が減少いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は171,557千円（前年同期比5.2%減）となりました。

医薬用関連においては、当年度より市場を独占している、自社製造の動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キットの販売が、順調に推移し売上高が増加いたしました。その結果、売上高は46,394千円（前年同期比132.6%増）となりました。なお、当事業は、新規治療薬シーズの研究開発や体外診断用医薬品に向けた製品開発を進めております。

その結果、研究用関連、医薬用関連を合わせた当セグメントの売上高は217,951千円（前年同期比8.5%増）となりました。

#### ・遺伝子組換えカイコ事業

遺伝子組換えカイコ事業においては、アステラス製薬株式会社や有限会社生物資源研究所と共同研究を進めているフィブリノゲンやインフルエンザワクチン等の開発ターゲットを、医薬品原料として生産するためのGMP対応を踏まえたパイロットプラントの建設を計画しております。また、平成26年7月10日「アステラス製薬株式会社との共同研究の進捗状況についてのお知らせ」でお知らせしておりますが、ヒト型フィブリノゲンを医薬品原料として開発するための次期契約締結へ向け、現在の共同研究を着実に進めております。そのほかの共同研究等につきましても順調に進行しております。その結果、当セグメントの売上高は13,860千円（前年同期比175.3%増）となりました。なお、当セグメントにおいては、将来に向けた重点的な研究開発等を積極的に進めるために、専門分野の人材を採用し、医薬品原料の生産拠点及び付属設備への投資を行い、生産体制の構築を進めてまいります。

#### ・検査事業

検査事業においては、当社グループが所有する脂質代謝解析技術を利用した生活習慣病領域での創薬・研究支援に加え予防・診断支援やペットに対するコレステロールと中性脂肪の測定が出来る診断サービスなどの需要が増加しており、積極的に人材採用及び設備投資による先行投資を実施し、売上拡大を目指しております。その結果、当セグメントの売上高は51,953千円（前年同期比33.1%増）となりました。

#### ・化粧品関連事業

化粧品関連事業においては、「すべての化粧品にネオシルク<sup>®</sup>－ヒトコラーゲン」をスローガンに掲げております。まずは、ネオシルク<sup>®</sup>－ヒトコラーゲンの素晴らしさを消費者の皆様に理解していただくために、量販店を中心として販売活動を行う株式会社エムコスメティックスにより、販売開始の準備を進めてまいりました。海外販売用及び量販店用の製品化が遅れておりましたが、第1四半期連結累計期間より本格的な販売活動を実施しており、バラエティショップやテレビショッピングでの取り扱いに向けて具体的に進行しております。しかしながら、本格的な売上高への寄与につきましては、本年12月以降となる見込みです。その結果、当セグメントの売上高は1,533千円となりました。

なお、当セグメントは第1四半期連結累計期間より新しいセグメントとしており、また前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より連結子会社である株式会社エムコスメティックスの連結を開始しておりますので、前年同期の比較はありません。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、285,046千円（前年同期比16.3%増）となりました。

利益面においては、共同研究開発における共同研究先からの負担金や様々な経費圧縮策を継続して実行しております。その結果114,197千円の営業損失（前年同期は123,513千円の営業損失）、経常収支については、助成金の収入があったこと等により83,962千円の経常損失（前年同期は125,235千円の経常損失）、81,825千円の四半期純損失（前年同期は139,401千円の四半期純損失）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（財政状態に関する分析）

### ・資産

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比2.8%増の3,234,716千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

前連結会計年度第4四半期と比較して当第2四半期連結会計期間での売上の低調を受け受取手形及び売掛金の残高が42,702千円減少しておりますが、一方増加要因は株式の取得により投資有価証券が106,218千円増加、関係会社への貸付40,000千円等によりその他（投資その他の資産）が43,699千円増加したことによるものであります。

### ・負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比48.0%増の521,365千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

銀行からの借入金の借換え及び新規借入等により1年内返済予定長期借入金を含めた長期借入金が205,017千円増加したこと等によるものであります。

### ・純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比2.9%減の2,713,350千円となりました。この主な要因は四半期純損失の計上によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は前連結会計年度末と比べ26,337千円増加し1,162,124千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### ・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により支出した資金は2,762千円（前年同期比14,926千円の減少）となりました。

この主な要因は、非資金項目である減価償却費の計上が46,039千円、売上債権の回収42,702千円等といった資金増加要因がありましたが、一方、資金減少要因として、事業活動が低調だったことにより税金等調整前四半期純損失を84,047千円計上したことが大きな要因であります。

### ・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は180,398千円（前年同期比108,632千円の増加）となりました。

この主な要因は、投資有価証券を取得したことによる支出が100,800千円、関係会社への資金の貸付が40,000千円、有形固定資産を取得し31,474千円支出したこと等によります。

### ・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により獲得した資金は204,975千円（前年同期比151,071千円の増加）となりました。

この主な要因は、銀行から資金を新規借り入れ及び借り換え等したため、長期借入金が205,017千円純増したこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,194,909	1,227,247
受取手形及び売掛金	178,148	135,446
商品及び製品	73,428	68,124
仕掛品	125,497	123,649
原材料及び貯蔵品	83,421	89,868
その他	32,302	30,739
流動資産合計	1,687,708	1,675,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	506,611	490,336
機械装置及び運搬具（純額）	21,573	19,582
土地	362,687	362,687
その他（純額）	91,047	76,459
有形固定資産合計	981,920	949,066
無形固定資産		
のれん	183,958	177,786
その他	35,664	25,028
無形固定資産合計	219,623	202,814
投資その他の資産		
投資有価証券	213,338	319,556
その他	44,504	88,203
投資その他の資産合計	257,842	407,759
固定資産合計	1,459,386	1,559,640
資産合計	3,147,094	3,234,716
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,065	12,638
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	46,644	86,688
その他	110,519	77,648
流動負債合計	274,228	276,975
固定負債		
長期借入金	77,271	242,244
その他	857	2,146
固定負債合計	78,128	244,390
負債合計	352,357	521,365
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,846,099	1,846,099
資本剰余金	878,479	878,479
利益剰余金	50,393	△31,431
自己株式	△73	△73
株主資本合計	2,774,898	2,693,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,344	△1,926
その他の包括利益累計額合計	△7,344	△1,926
新株予約権	7,551	7,551
少数株主持分	19,630	14,651
純資産合計	2,794,736	2,713,350
負債純資産合計	3,147,094	3,234,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	245,026	285,046
売上原価	125,367	151,725
売上総利益	119,658	133,320
販売費及び一般管理費	243,172	247,518
営業損失(△)	△123,513	△114,197
営業外収益		
受取利息	1,081	3,061
助成金収入	3,617	15,000
為替差益	177	4,481
受取保険金	3,039	—
受取補償金	—	7,690
その他	661	1,078
営業外収益合計	8,576	31,311
営業外費用		
支払利息	1,182	1,072
新株発行費	9,116	—
その他	—	4
営業外費用合計	10,299	1,076
経常損失(△)	△125,235	△83,962
特別損失		
投資有価証券売却損	12,011	—
固定資産売却損	171	—
固定資産除却損	—	85
特別損失合計	12,182	85
税金等調整前四半期純損失(△)	△137,417	△84,047
法人税、住民税及び事業税	1,983	2,756
法人税等合計	1,983	2,756
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△139,401	△86,804
少数株主損失(△)	—	△4,978
四半期純損失(△)	△139,401	△81,825

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△139,401	△86,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,146	5,418
その他の包括利益合計	8,146	5,418
四半期包括利益	△131,254	△81,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△131,254	△76,407
少数株主に係る四半期包括利益	—	△4,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△137,417	△84,047
減価償却費	42,351	46,039
のれん償却額	2,272	6,172
受取利息及び受取配当金	△1,081	△3,061
支払利息	1,182	1,072
為替差損益(△は益)	△898	△4,523
新株発行費	9,116	—
有形固定資産売却損益(△は益)	171	—
投資有価証券売却損益(△は益)	12,011	—
売上債権の増減額(△は増加)	111,298	42,702
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,310	705
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,150	△4,426
その他	△28,880	△3,872
小計	△6,336	△3,238
利息及び配当金の受取額	716	3,132
利息の支払額	△1,295	△1,115
法人税等の支払額	△10,773	△1,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,688	△2,762
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金等の預入による支出	△9,000	△9,000
有形固定資産の取得による支出	△45,587	△31,474
無形固定資産の取得による支出	△927	△1,517
投資有価証券の売却による収入	182,577	—
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	△180,000	△100,800
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△120,875	—
関係会社貸付けによる支出	—	△40,000
貸付金の回収による収入	1,998	2,367
その他	50	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,766	△180,398
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△25,542	△94,983
新株予約権の発行による収入	7,506	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	103,209	—
配当金の支払額	△29,795	△41
その他	△1,474	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,903	204,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	898	4,523
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,652	26,337
現金及び現金同等物の期首残高	793,694	1,135,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	759,042	1,162,124



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。